

**(解き方)**

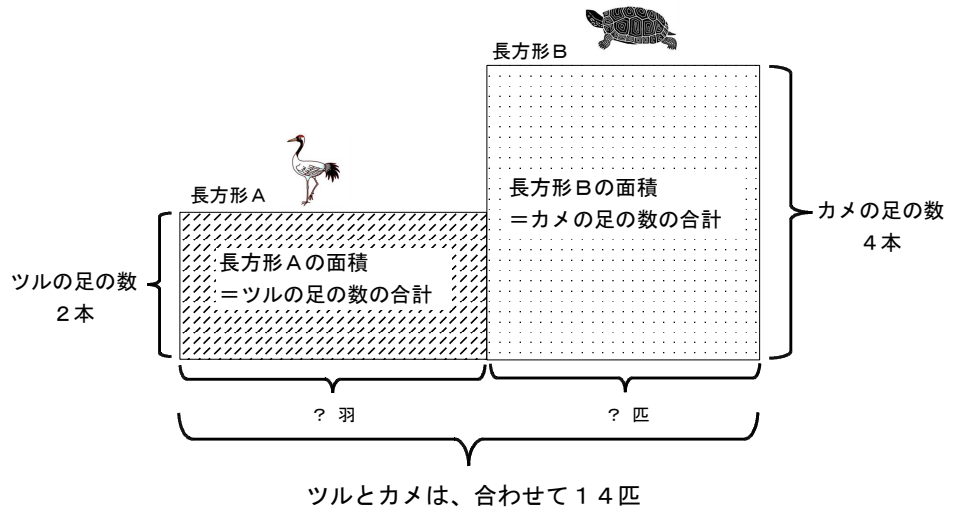
ツルとカメの足の数の合計を長方形の面積で表します。

ツル（長方形A）……たての長さが足の数（2本）で、横の長さはツルの数（?羽）となります。

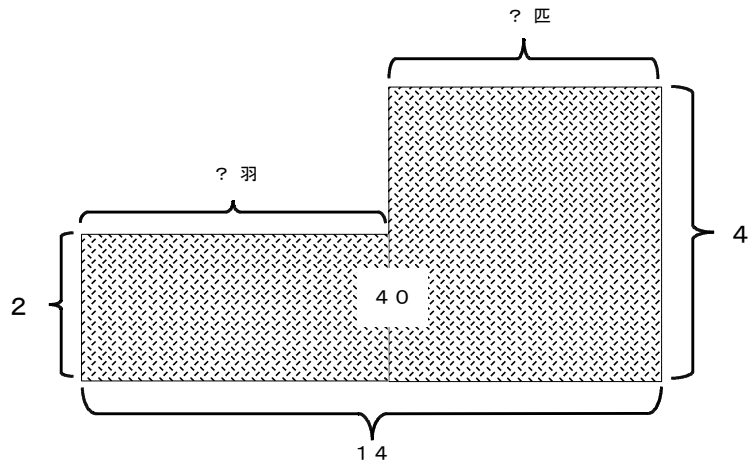
カメ（長方形B）……たての長さが足の数（4本）で、横の長さはカメの数（?匹）となります。

このような図を、面積図といいます。

ツルとカメは何匹（羽）ずついるのかわかりませんが、2つの長方形を下図のようにつなげて表すと、つなげた図の横の長さは、14匹であることがわかっています。

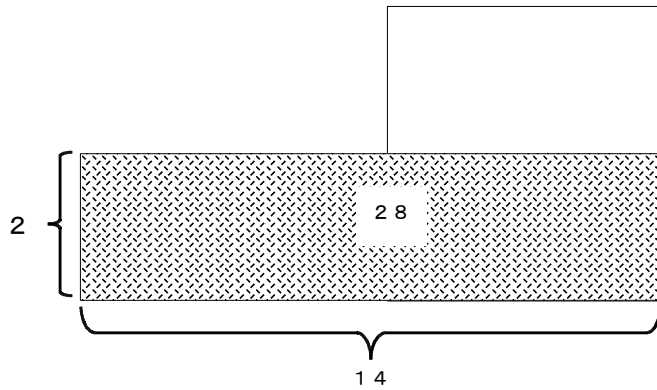


足の数の合計が40本なので、面積は40となります。



L字形をした図形の面積を求めるときに、図を下のように分けて考えたことを使うと、  
下の長方形の面積は、

$$2 \times 14 = 28 \text{ となります。}$$

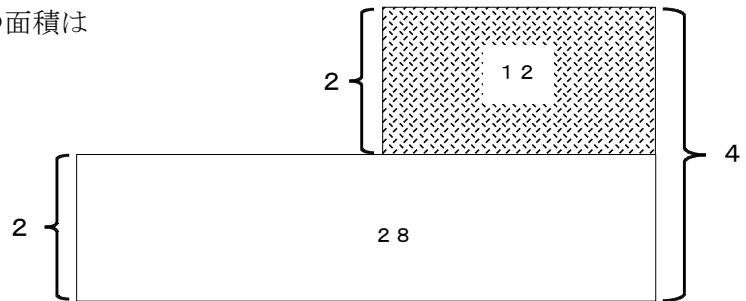


全体の面積が40なので、上の部分の面積は

$$40 - 28 = 12 \text{ となります。}$$

上の部分の長方形のたての長さは、

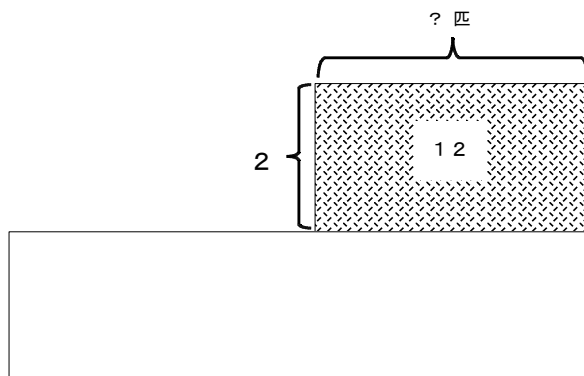
$$4 - 2 = 2 \text{ です。}$$



横の長さ (?匹) は、

$$12 \div 2 = 6 \text{ となります。}$$

**カメの数は6匹**であることが  
わかりました。



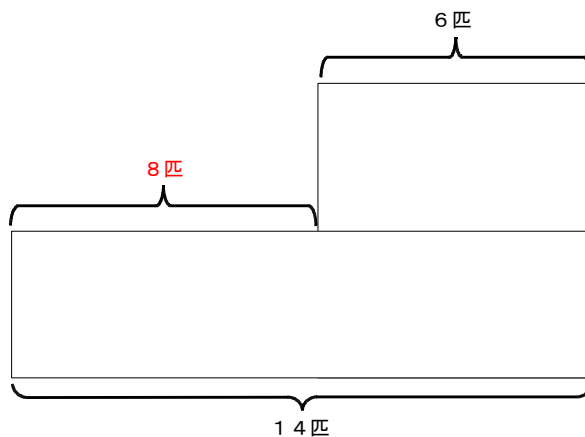
**ツルの数は、**

$$14 - 6 = 8 \text{ となりますね。}$$

**答え**

**ツル 8羽**

**カメ 6匹**



買い物の問題ならば、

たてが単価（1個の値段）、横が個数、面積が合計の値段

速さの問題ならば、

たてが速さ、よこが時間、面積が進んだ距離

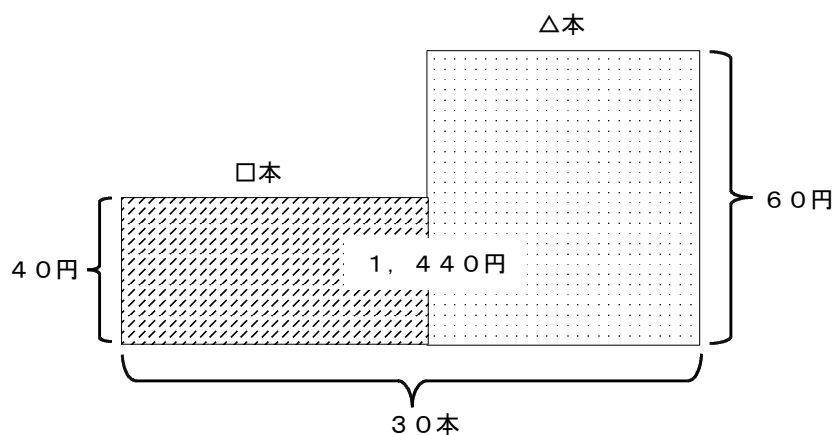
というようになります。

### (チャレンジ)

それでは、実際に面積図を使って問題にチャレンジしてみましょう！

けんたさんは、1本40円と1本60円のえんぴつを合わせて30本買って、全部で1,440円はらいました。

40円と60円のえんぴつを、それぞれ何本ずつ買ったのでしょうか。



皆さんも、生活の中から面積図を用いて解く問題を考えてみましょう。